

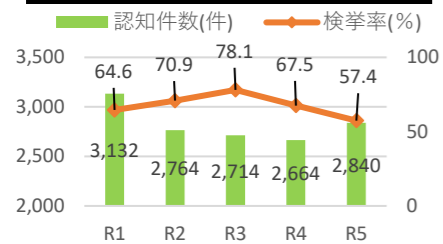
令和5年 福井県の治安情勢（概要版）

福井県警察



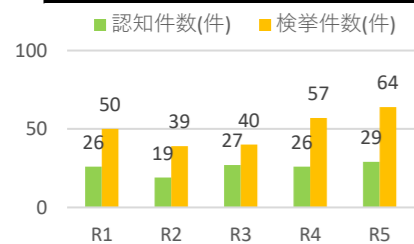
第1 犯罪の認知・検挙状況

刑法犯の認知・検挙状況



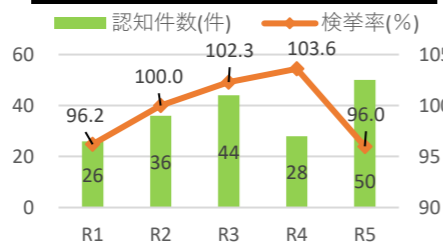
・認知件数は、戦後最少であった前年に比べて増加
・検挙率は、高水準を維持(全国8位)

特殊詐欺の認知・検挙件数



・認知件数は、前年に比べて増加
・検挙件数(助長犯罪含む)は、前年に比べて増加

重要犯罪の認知・検挙状況



・認知件数は、前年に比べて増加
・検挙率は、高水準を維持(全国7位)

薬物犯罪の検挙人員



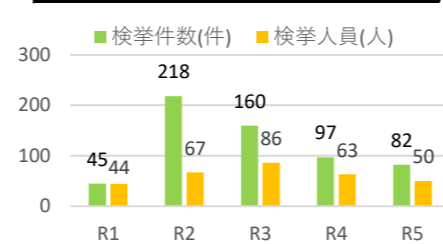
・検挙人員は、前年に比べて増加

防止重点8罪種の認知件数



・認知件数は、自転車盗を中心に前年に比べて増加(自転車盗232件増加)

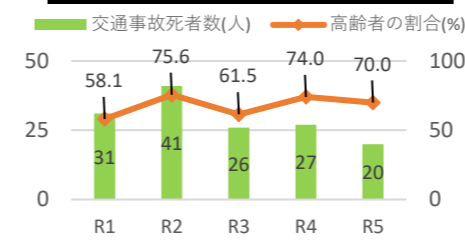
来日外国人犯罪の検挙状況



・検挙件数、検挙人員ともに前年に比べて減少

第4 交通事故防止対策

交通事故死者数の推移



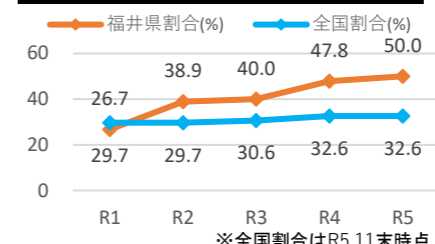
・交通事故死者数は、過去最少(記録の残る昭和23年以降)
・高齢者の割合が7割を占める



「さくらいと」による広報啓発活動

○アイドルグループ「さくらいと」との広報啓発活動
○死亡事故が多発傾向にある10月から12月にかけて、ラッピングバスを用いた注意喚起

高齢者が第1当事者となる交通死亡事故の割合



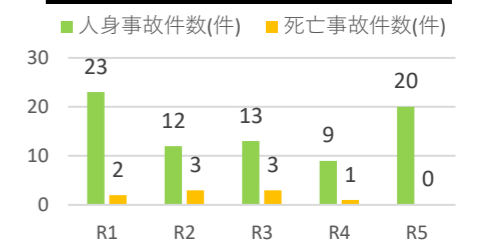
・高齢者が第1当事者となる割合は5割で、全国平均よりも高い(全国平均32.6%)



運転免許卒業証書の発行

○関係機関と連携した高齢者に対する個別訪問指導
○免許証自主返納のワンストップ窓口の設置

飲酒運転による人身事故等件数



・飲酒運転による死亡事故の発生はなし
・人身事故の件数は前年より増加

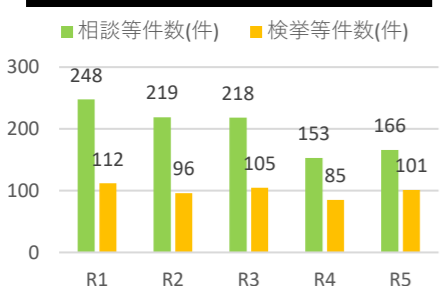


情報提供窓口「飲酒運転ダメール」の開設

○情報提供窓口「飲酒運転ダメール」の開設
○官民一体となった広報啓発活動

第2 子ども、女性、高齢者を犯罪から守る対策

子どもに対する声掛け事案等の相談件数



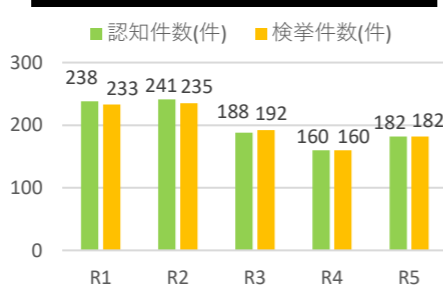
・相談等件数、検挙等(検挙、指導・警告)件数ともに、前年に比べて増加



福井ユナイテッドとの見守り活動

○防犯ボランティアとの合同見守り活動
○児童相談所との児童虐待事案対応合同訓練

女性が被害者となる犯罪の認知・検挙件数



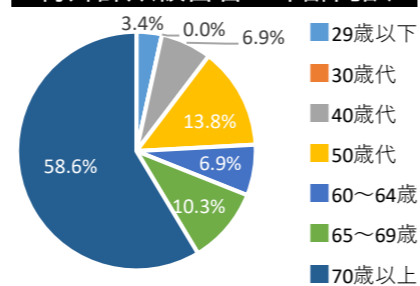
・認知件数、検挙件数ともに、前年に比べて増加



企業等における防犯講習

○レディースガードリーダー(女性相談員)の育成
○女性の防犯力向上のための防犯講習等の開催

特殊詐欺被害者の年齢内訳



・65歳以上の高齢者が約7割を占める
・70歳以上の被害割合が最も大きい



特殊詐欺被害防止コールセンターの開設

○特殊詐欺被害防止サービス導入への働き掛け
○コールセンターによる固定電話対策

第5 テロ・大規模災害等の対策



生物・化学物質対処訓練

○大規模集客施設等におけるテロを想定した対処訓練の実施
○石川県能登地方における地震(令和5年5月)、県内での大雨(令和5年7月)での被災情報の収集、避難誘導や交通規制等を実施



救出救助訓練



海上における緊急事態対処訓練

第6 サイバー空間の安全安心の確保

サイバー関連の相談受理件数



・相談件数は、前年より減少したものの、高止まり



サイバーセキュリティフォーラムの開催

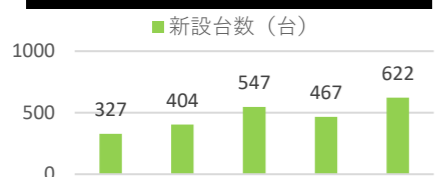
○サイバーセキュリティに関するフォーラムやセミナーの開催
○サイバー攻撃発生時の共同対処訓練の実施



事業者対象の共同対処訓練

第3 犯罪の起きにくい社会づくり

街頭防犯カメラの新設台数(警察が関わったもの)



・県警察の支援により新設された街頭防犯カメラは、令和5年中622台
・統計を取り始めた令和元年以降、累計で2,367台



「ふくいクリーンアップ&安全・安心プロジェクト」の推進

○地域の防犯力向上のための「ふくいクリーンアップ&安全・安心プロジェクト」を開始
○少年の街頭補導活動や大型映像装置を活用した広報啓発活動



大型映像装置を活用した広報啓発

第7 治安基盤の強化



110番通報の受理

○110番映像通報システムの全国一斉運用開始(110番の際、スマートフォン等の機能を用いて、映像や画像を警察に送信できるシステム)
○「生命のメッセージ展」、「命の大切さを学ぶ教室」など、被害者支援への理解の促進
○警察活動の基盤となる警察署や交番・駐在所の計画的な整備



生命のメッセージ展の開催



松原交番(敦賀警察署)の整備